

早急に漁民

側と話合い

中村水俣市長帰任談

さる十三日新日窒東京本社に水俣漁協と会社側の円満解決点を見出すため上京していた水俣病紛争地元調停委の中村水俣市長は、十九日午後七時七分水俣駅着下り準急「かいもん」で單身帰任、つぎのように語った。

新日窒本社は白紙委任問題については方針を変えていないが、会社側のすすめで千葉県木更津のエビ養殖場を見た。養殖場では不知火海は最も有望といっており、会社側は水俣漁民の恒久的な生活の安定のためには就労と漁業振興会社はぜひ必要だといっていた。こんごの交渉については寺本知事とも相談して具体的にきめたい。漁民の操漁開始問題についてはこれはなかなか困難な問題だが、交渉を早く妥結させることが何よりの解決策だと思う。現在まだ東京にいる石原助役や地元調停委の淵上議長らは二十二日ごろ帰任の予定なので、全員の意見をまとめたうえで漁協とも話し合いを進めたい。